

【ひとり親家庭の困りごとと、日常生活を語れる場の必要性】

日本シングルマザー支援協会（以下協会）は平成29年度に相模原市と包括連携協定を結びました。平成30年度から始まった「ひとり親家庭等訪問相談事業」を受託させていただき、ひとり親家庭の困りごとや、日常生活を語れる場の必要性を強く感じております。

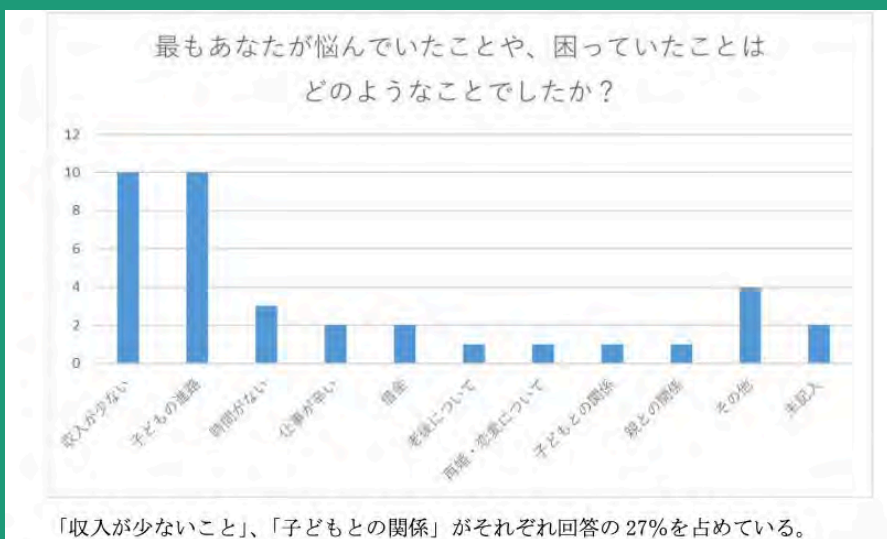
「ひとり親家庭等訪問相談事業」の特徴としましては、当事者でもある協会の相談員が訪問することで、自分の将来について考えるきっかけを提供しています。コロナ禍におきまして、オンライン相談も取り入れることで、安心して相談できる状況も確保しています。

令和元年度、2年度のアンケートの結果を参考にしながら、ひとり親の語れる場について考察してみました。

（令和元年度回収率 回答50件/実施75件 66.7% /令和2年度回収率 回答37件/実施56件 66.1% ・対象：相模原市内の中学2・3年生を持つひとり親家庭）

Q:最もあなたが悩んでいたことや、困っていたことはどのようなことでしたか？

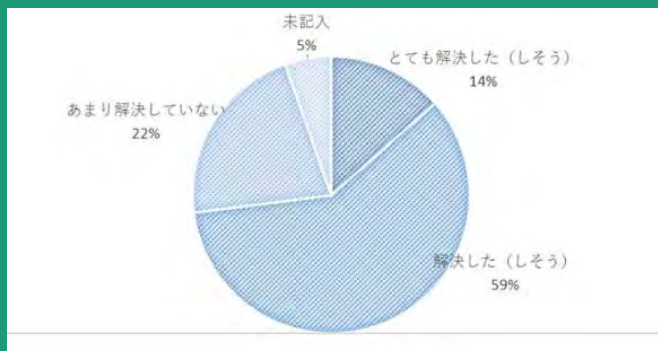
【令和2年度】



上表で悩みや困り事は、経済的な問題と子供との関係であることだということが分かります。協会での個別相談におきましても、同様に経済的な悩みを抱えている方が多いため、協会では自立のノウハウを体系化しており、伝える事が可能です。

訪問相談では自発的に相談してこなかったひとり親に対して、ノウハウを持った協会相談員がアウトリーチという形で訪問し、民間の利点を生かし解決をしたと感じていただいております。

Q:訪問相談を利用して、問題は解決しましたか？



「とても解決した(しそう)」
「解決した(しそう)」
を合わせると74%と高い評価を得ている

また、訪問相談を利用して、良かったですか？という質問に対しては【令和元年度】とても良かった38%・良かった48%・よくなかった8%・とても良くなかった2%・未記入2%

【令和2年度】とても良かった35%・良かった62%・良くなかった3%

となっており、訪問相談をして良かったと思う方が、増加しています。

また、97%という高い数値で良かったという感想を頂き、満足度の高さ伺えます。

このような訪問相談事業は、相模原市で今後も継続して実施したほうが良いと思いますか？

という質問に対しては、

【令和元年度】とても思う44%・思う46%・あまり思うわない8%・全く思わない2%

【令和2年度】とても思う43%・思う57%

となりました。

当事者でもある相談員の寄り添った支援により信頼関係や安心感が生まれ、自分以外のひとり親家庭にも同じ支援を受けてほしいという思いが増えていることが伺えます。

日々忙しく過ぎてしまう毎日を、アウトリーチ型訪問相談によって、一旦立ち止まって自分自身を考え、語る時間を得ることは、長期的に考えても非常に重要です。

ひとり親にとって、日常生活を語れる場の必要性を、ひとり親自身が感じ始めているのではないのでしょうか？

【実績一覧（自治体関連）】

年	月	受託事業及び後援事業	連携協定
2014	8	横浜市市民局後援：シングルマザー就職イベント開催	
2014	11	八王子市：シングルマザー向け就職セミナー講師	
2015	3	宮城県：シングルマザー向け就職セミナー講師	
2015	4	神奈川県：ひとり親家庭支援事業 講師	
2015	5	北海道浦幌町：町おこし婚カツセミナー 講師	
2015	7	さいたま市後援：シングルマザーシンポジウム開催	
2015	10	八王子市：シングルマザー応援講座 講師	
2016	2	横浜市男女共同参画：ひとり親就労意見交換会参加	
2016	2	相模原市男女共同参画：市民講座 講師	
2018	2		神奈川県横浜市
2018	3		神奈川県相模原市
2018	6	相模原市ひとり親家庭訪問相談事業（現在継続中）	
2018	9		大阪府大阪市
2018	10		静岡県静岡市
2018	12	静岡市：シングルマザー移住体験バスツアー	
2019	3		神奈川県川崎市
2019	4	大阪市：ひとり親向総合講座	
2019	7		千葉県千葉市
2020	10		福岡県北九州市
2020	10	横浜市ひとり親家庭訪問相談事業（現在継続中）	
2021	4		埼玉県さいたま市

【実績一覧（ひとり親関連）】

日本シングルマザー支援協会：シングルマザー向実施業務内容

就職・転職相談

生活・メンタル相談

講座・セミナー開催

移住支援

副業支援サービス

ランチ会・お茶会開催

資格取得支援

再婚支援

過去年度相談数

	2020年度	2019年度	2018年度
個別相談申込人数（就職相談含）	1182名	1203名	763名
就職支援実施（見学会参加含）	84名	105名	72名
イベント参加申込み数	81名	163名	55名
セミナー受講者数	245名	195名	50名

2年間ヒアリングを重ねてできた、
当事者目線の当事者のための養育費補償
株式会社casa

Casa

一般社団法人

日本シングルマザー支援協会



【ICT支援員の育成】

ITスキル教育と、働く場所の新たな基盤構築に注力する当協会では、今年度から「ICT支援員」の育成に乗り出し、初年度から20名以上の合格を見込んでいます。ICT支援員の活用にお困りの際は当協会までご相談ください。

*ICT支援員：情報活用教育の推進のために、小中学校などの教員をサポートする認定資格

一般社団法人
日本シングルマザー支援協会®



〒221-0835
神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-12-10千菊ビル301
TEL: 045-534-8849